

【テピアマンスリー今月の話題】2018年5月号

「一带一路」の日中環境ビジネス協力を期待

2018年5月9日、第7回日中韓サミットが東京で開催され、中国の李克強首相が2013年3月の就任以来、初めて来日した。あわせて日中首脳会談も行われ、この会談の中で、中国政府が進めている「一带一路」イニシアティブに関する日中間の協力について話し合う検討委員会を設置すること等を含め、様々な分野での今後の日中協力が確認された。

「一带一路」は習近平国家主席が2013年に打ち出した「現代版シルクロード構想」を元とする広域の経済圏構想で、中国から中央アジア、中東、欧州へと続く「シルクロード経済ベルト」と、南シナ海やインド洋の沿岸国を経てアフリカへ至る「21世紀の海上シルクロード」からなる。沿線諸国の開発途上国の鉄道や道路、港湾などのインフラ建設を中国が支援することで広大な経済圏を振興させ、中国の影響力を及ぼすことを狙っている。

昨年5月14日、15日の2日間にわたり北京で開催された「一带一路国際協力サミット」は米国やロシアを含む29カ国の首脳が参加し、世界130カ国から約1500人が参加する一大国際イベントとなった。日本からは自民党の二階幹事長が安倍総理の習近平主席宛の親書を持参して出席した。

今年5月の東京での日中首脳会談に先立つ4月27日付で、中国商務部が管理するメディアである「中国経済日報」は「一带一路で日中協力の新たな道を開く」と題する記事を掲載していた。その中で、日本が2017年5月の北京での「一带一路国際協力サミット」に参加したことが、それまで停滞していた日中関係の転換点となり、その後のベトナムでのAPEC及びG20での日中首脳会談が実現するなかで「一带一路」における協力が両国で重要な位置づけを持つものとなったと述べている。

日中間の経済交流は、貿易額が5年連続でマイナスとなるなど停滞期が続いていたが、2017年は10%を超えるプラス成長を記録し、双方向の直接投資も増加に転じるなど回復基調が鮮明となってきている。今回の日中首脳会談を契機として、日中間のビジネス活動が広範囲にわたって再び活発化することが期待される。

中国環境保護部（現・生態環境部）は、2017年5月15日付で、「一带一路のグリーン建設の推進に関する指導意見」ならびに「一带一路の環境保護協力計画」を策定し、公表している。一带一路沿線の開発途上国のインフラ整備を進めるに当たっては、支援対象国や地域の環境生態系の保護を十分に重視し、現地の生態環境保護要求を厳格に遵守するのみ

ならず、今後より厳しくなることが予想される中国の生態環境保護要求を満たすことを一帯一路の環境保護協力計画の基本方針として明記した。

今年3月に行われた第13期全国人民代表大会（全人代）では「中華人民共和国憲法修正案」が採択されて「生態文明の建設」の文言が中国憲法に正式に盛り込まれた。中国は生態環境の保護を普遍的な国家理念として世界に向けて標榜する新たな時代を迎えたといえる。鉄道や道路、港湾などのインフラ建設だけでなく、それに歩調を合わせた環境保護対策の分野も開発途上国に向けて、日本企業が技術と経験を活かして中国と協力できる可能性が高い分野であると考えられる。

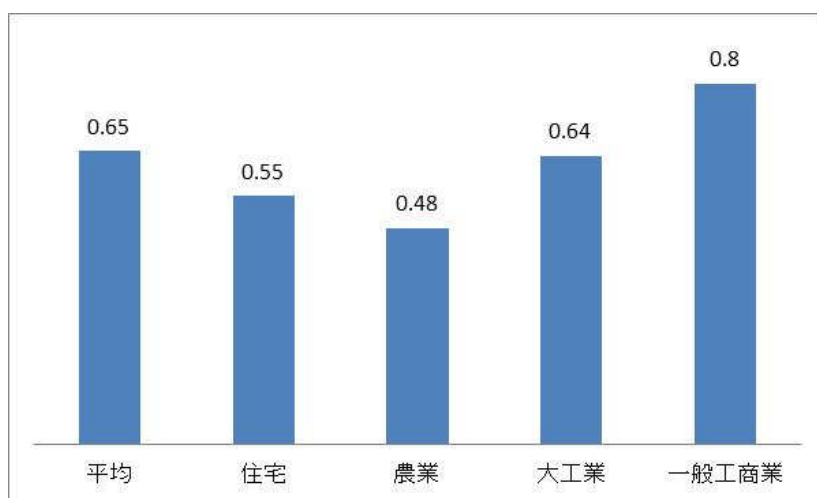
一帯一路に関する日中間での具体的な協力の重点分野や方法については、安倍首相の訪中に合わせて第一回目の協議が行われることが予定されている。日本企業の環境関連技術や製品が中国政府や企業との協力スキームのもとで、一帯一路の第三国でのインフラ整備に合せて普及していく WIN-WIN での取り組みが実現していく展開が強く望まれる。

（高木 正勝）

【中国】【電気料金】中国政府が工商業向け電気料金値下げ打ち出す

中国国家発展改革委員会は2018年4月19日、「一般工商業の電気料金引き下げに関する関連事項の通知」（「关于降低一般工商电价有关事项的通知」）（3月28日付）を各省や自治区等の関係機関に通知した。それによると、平均で10%の値下げを目標として示したうえで、各省や自治区等の価格主管部門に対して、一般工商業向けの電気料金を引き下げる具体的なプランを提案することなどを要求した。¹

中国の電気料金比較（元/kWh）



出典：中国能源網 (<https://www.china5e.com/news/news-1026988-1.html>)

【中国】【西電東送】雲南省から沿海部への送電量が1242億kWhに

西部地域で発電した電力を沿海部に送る「西電東送」プロジェクトに組み込まれている雲南省からの送電量が2017年に1242億2000万kWhに達し、国が定めた目標をクリアしたことが明らかになった。2018年4月16日付『中国能源網』が伝えた。²

国家発展改革委員会と国家能源局は2017年、「2017年の重点水力発電省・区間消費工作方案」、「西部地区の水力発電消費促進に関する通知」を相次いで発布。この中で、雲南省の水力発電所で作られた電力の消費目標を規定した。それによると、省や自治区を越えて供給する発電量について965億kWhをベースとして市場取引での送電量を最低でも200億kWhを確保すると定めた。2017年の実績はこれを上回り、初めて1200億kWhを超えた。

¹ 「发展改革委关于降低一般工商业电价有关事项的通知」
(http://www.gov.cn/guowuyuan/2018-04/19/content_5283935.htm)

² 「云南电网西电东送再创新高 首次突破1200亿千瓦时」
(<https://www.china5e.com/news/news-1026532-1.html>)

雲南省から東部地域に電力を供給する最大送電距離は 1438km に、また最大送電能力は 2870 万 kW に達している。24 年前は、送電能力は 25 万 kW に過ぎなかったため 113.8 倍に増えた計算になる。また、年間送電量も当初の 5 億 5000 万 kWh から約 225 倍に拡大した。

【中国】【太陽光発電】10 年間に太陽光発電コストが 90%低下

2007 年から 2017 年にかけて発電コストが 90%低下するなど、中国の太陽光発電が成熟段階に達している状況を考慮すると、この 3~4 年以内に電力卸売り価格が石炭火力発電や水力発電と同じ土俵に上げられるようになる——。中国国家能源局新能源部（司）の李創軍副部长は 2018 年 4 月 12 日、太陽光発電の見通しについて語った。³

李副部长によると、2005 年の中国の太陽光発電所の新設規模は 5000kW、同年末時点の合計設備容量は 7 万 kW で、世界全体に占める割合もそれぞれ 0.36%、1.35%に過ぎなかった。しかし、2017 年の新設容量は 5300 万 kW で、同年末時点での合計設備容量は 1 億 3000 万 kW に達し 3 年連続して世界 1 位となった。合計設備容量は世界全体の 32.4%を占める。また、2017 年の多結晶シリコンチップ、電池、モジュールの国内価格は対前年比でそれぞれ 26.1%、25.7%、33.3%低下し、太陽光発電コストは 7 元/W 程度、モジュールコストは 3 元/W 程度まで下がった。

【中国】【風力発電】中国の風力発電容量 1 億 6800 万 kW に

中国国家能源局は 2018 年 4 月 28 日、1 月から 3 月までの風力発電の状況についてとりまとめを発表した。それによると、送電網に接続された新設規模は 394 万 kW となり、3 月末時点での風力発電設備容量は 1 億 6800 万 kW に達した。また 1 月から 3 月までの風力発電電力量は 979 億 kWh となり前年同期比で 39%増加した。また、風力発電所の平均利用時間数は 592 時間で、前年同期比で 124 時間増加した。一方、送電網の容量不足や系統連系の問題など様々な要因によって発電設備の稼働が制限されてしまう「棄風」電力量は 91 億 kWh で、前年同期と比べて 44 億 kWh 減少した。「棄風」率は 8.5%となり、前年同期比で 8 ポイント低下した。⁴

³ 「我国光伏发电度电成本 10 年下降 90%」 (http://www.nea.gov.cn/2018-04/13/c_137108373.htm)

⁴ 「2018 年一季度风电并网运行情况」 (www.nea.gov.cn/2018-04/28/c_137143494.htm)

省 (区、市)	累計送電 設備容量 (万kW)	発電量 (億 kWh)	棄風電力量 (億 kWh)	棄風率 (%)	利用時間 数 (時間)
全国	16761	979	91	8.5%	592
北京	19	1.3			667
天津	33	2.0			613
河北	1208	89.8	2.4	2.6%	747
山西	891	65.4	0.5	0.7%	738
内モンゴル	2681	160	44.8	21.3%	617
遼寧	719	42.6	1.0	2.4%	596
吉林	505	25.1	2.2	8.1%	497
黒竜江	570	33.9	3.2	8.5%	595
上海	71	5.1			721
江蘇	678	44.8			726
浙江	137	7.9			584
安徽	229	13.0			571
福建	267	20.8			809
江西	200	8.9			448
山東	1073	64.0			614
河南	288	14.9			520
湖北	275	14.7			535
湖南	269	14.0			524
広東	345	17.4			504
広西	167	10.1			633
海南	32	1.4			422
重慶	33	1.1			322
四川	215	16.4			765
貴州	366	17.6			489
雲南	825	74.6			904
チベット	1	0.1			695
陝西	364	22.2	0.6	2.8%	521
甘肅	1282	58.2	14.1	19.5%	456
青海	237	7.5			346
寧夏	976	48.1	1.2	2.5%	499

新疆	1806	76.1	21.0	21.6%	422
----	------	------	------	-------	-----

【中国】【内モンゴル】内モンゴルの17年の発電量が12%増加

内モンゴル自治区の発電設備容量（6000kW以上の発電所が対象）は2017年末時点で1億1810万kWに達し、前年比で7.1%増加した。火力発電は8162万kWで前年比では7.38%増。このうち公共用は6547万kWで前年比7.47%増、自家用は1615万kWで同7%増となった。風力発電は2669万kWで同4.45%増、太陽光発電は740万kWで同16.4%増、水力発電は238万kWで同0.25%増となった。内モンゴル経済情報委員会の情報として「中国能源網」が伝えた。⁵

また、2017年の発電量は4422億3000万kWhで前年から12%増加した。内訳は、火力発電3736億kWh（前年比10.7%増）、風力発電551億kWh（同18.7%増）、太陽光発電112億4400万kWh（同35.5%増）、水力発電23億kWh（同15.5%増）など。

【中国】【電力消費】2018年1～3月の電力消費量が対前年比9.8%増

中国の2018年3月の電力消費量は5325億kWhとなり、前年同月と比べて3.6%増加した。また、1月から3月までの合計電力消費量は1兆5878億kWhとなり、前年同期比では9.8%の伸びを示した。国家能源局が2018年4月13日、発表した。⁶

【中国】【電力消費】南部5省・自治区の3月までの電力消費が10%超の伸び

南方電網公司によると、景気に連動する形で、南部5省・自治区の2018年第1四半期（1月～3月）の電力消費量が2455億kWhとなり前年同期比で10.5%の伸びを示した。広西チワン族自治区と雲南省では15%を超える伸び率を記録した。伸び率は前年同期と比べて4.6ポイントの上昇。最大負荷は1億4800万kWで前年同期比では15.9%増。2018年4月20日付『中国能源網』が報じた。⁷

⁵ 「内蒙古6000千瓦及以上火电装机同比增长7.07%」(<http://www.china5e.com/news/news-1027728-1.html>)

⁶ http://www.nea.gov.cn/2018-04/13/c_137108797.htm

⁷ 「一季度南方五省区全社会用电量2455亿千瓦时」(<http://www.china5e.com/news/news-1027085-1.html>)

【ベトナム】【環境】 主要都市で大気汚染が深刻に

2018年5月10日に在ベトナム米大使館で行われた大気質への意識向上に関するディスカッションで、ホーチミン市の大気汚染が日々悪化しており、観測結果の「平均値」が87日、「国家基準超え」が14日、「WHO基準超え」が222日もあったことが明らかにされた。しかしハノイの汚染はさらに深刻で、2017年は2016年よりも改善されたものの「非常に害がある」とする日数が増加しているという。

ハノイについては、4月上旬は風向きにより、PM2.5とその他汚染物質が中国から運ばれてくる。さらに濃度が上がった状態の二酸化硫黄(SO₂)がベトナム国境を越え、高濃度を保ったままハノイへ流入していることが観測されている。一方、ホーチミンの大気汚染は、汚染された大気が海岸線の道路を辿り広がっていることが分かっている。

米大使館の環境・技術健康科学室長は、こうした米大使館側の観測値が正しいものであるとしたうえで、ベトナム政府発表の数値との違いについては、観測計の設置場所、観測設備・技術、機械メンテナンス状態の違いによるものであると指摘している。⁸

【ベトナム】【省エネ】 ベトナム政府、繊維工業の省エネを推進

ベトナム繊維工業協会(VITAS)会長は2018年4月11日、繊維工業生産におけるエネルギーコストは年間300万米ドルかかっており、これらの省エネは今後のベトナムの繊維工業界発展に関わる大きな課題であると指摘している。同協会主催の「繊維工業ブランド化・環境構築-省エネソリューション」と題したシンポジウムで述べた。米国国際開発庁(USAID)の統計によると、ベトナム全体の電力使用量は2020年時点で2010年の3倍になると予測されているが、繊維工業のエネルギー使用量は現在、全業種の11%を占めている。また、生産高1VNDあたりのエネルギーコストは1VNDである。

商工省気候変動対策・グリーン成長事務局副局長によると、最近では欧米市場への輸出の際に納品先より炭素排出量表示を求められる場合もあるなど、今後のベトナム繊維工業界の省エネは、コスト削減による利益向上だけでなく、世界の省エネ基準に対する要求を満たしFTA域内における競争力を上げるという意味でも重要である。同副局長は、年間30%＝10億VNDの省エネコスト削減になり、市場競争力へかなりの効果をもたらすと述べ、今後の繊維工業における省エネの重要性を強調した。4月12日付『Chinhphu.vn』などが報じた。⁹

⁸ <https://news.zing.vn/chat-luong-khong-khi-cua-tphcm-ngay-cang-te-post841548.html>

⁹ <http://baochinhphu.vn/Kinh-te/Det-may-co-co-hoi-tiet-kiem-khoan-chi-3-ty-USD/333950.vgp>

<http://baocongthuong.com.vn/tiet-kiem-nang-luong-se-lam-tang-suc-canh-tranh-cho-det-may-viet.h>

【ベトナム】【農業】ハイテク農業事業者の認定基準が6月より施行

ハイテク農業への投資を推進するベトナムでは、ハイテク農業事業者に対して貸付制度や税制面での優遇政策を採用しているが、2018年6月5日から、対象となるハイテク農業事業者の新たな認定基準が制定される。新基準では、ハイテク農業技術で生産された高付加価値、高品質の製品が売り上げの60%以上を占めること、ベトナムにおける研究と開発への支出が売上総額の0.5%以上であること、研究開発に従事する大卒以上の専門職の従業員数が全従業員の2.5%以上であること、生産において環境にやさしい技術、省エネを実行し、ベトナムおよび国際基準に沿った品質管理を行うことなど従来より具体的な基準が示されている。¹⁰

tml

10

<http://tapchitaichinh.vn/co-che-chinh-sach/tieu-chi-xac-dinh-doanh-nghiep-nong-nghiep-ung-dung-cong-nghe-cao-140395.html>